

総合的な学習の時間

第4学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見力】【追求力】【評価力】

単元名

## 「西条の水と龍王山①」 ～西条の水のナゾを追え！～

### 【単元の概要】

児童は、西条の水（西条酒の仕込み水）の試飲体験をすることでもった疑問や驚き等を基に課題を設定し、西条の水の特質について探究していきます。その中で、西条の水は西条の町にとって大切な水であるということに気づき、西条の水や町への愛着を深めていきます。そして、西条の水のよさを広める取組を考え、実行していきます。

学習指導要領における領域・内容

地域や学校の特色に応じた課題

他教科等との関連

国語、社会、算数

### ◆単元の目標

酒蔵通りで酒の仕込み水として汲み上げられている水について調査する活動を通して、課題を自ら見だし、課題解決に向けて主体的に活動する態度を育てるとともに、西条の水の特質や価値に気づき、地域を愛する心情を育てる。

### ◆単元の展開（全33時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>課題の設定（5）</b>		
西条酒が日本酒のコンクール等で受賞したことをきっかけに、西条酒について知っていることを語り合う。	<p>○西条の酒は、やっぱりおいしくて有名なんだね。西条は、灘や伏見と並び日本三大銘醸地とされていると聞いたことがあるよ。</p> <p>○西条の気候と水、米がおいしいお酒を生み出していると6年生のオペラで言っていたよ。</p> <p>○酒蔵の前に井戸があって、その水を使っているらしいよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■（事前の取組）朝の会等で機会をとらえて、西条酒が日本酒のコンクール等で受賞したニュースを紹介しておく。</li> <li>■西条酒が日本酒のコンクールで受賞したという内容の新聞記事や資料を提示する。</li> <li>■6年生が演じるオペラ「白壁の街」に触れた発言から、おいしい西条酒のもととなる条件に視点を向けさせ、知っていることを話させる中で視点を水に焦点化していく。</li> </ul>
西条酒に使われる仕込み水について知る。	<p>○酒の80%は水なんだ。だから、よい水のある所により酒ができると言われているんだね。</p> <p>○井戸を見たことがあるよ。</p> <p>○井戸の水を飲んだことがあるよ。おいしいよ。</p> <p>○うちは、井戸の水を汲んできて、飲んだり料理に使ったりしているよ。お母さんが井戸の水はおいしいと言っていたよ。</p> <p>○西条の水についてどんなことを知っているか、イメージマップに書き出してみようよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西条酒の原料は、米と水であること、西条酒に使われる仕込み水を誰でも飲めるよう各酒造会社が井戸を開放していることを、写真を提示しながら説明する。</li> <li>■西条の水を飲んだことがある、知っていることがあるという児童に話をさせる。</li> <li>■西条の水について知っていることを認め、どんなことを知っているのかを明らかにする方法について、これまでの学習経験を想起させて話し合わせる。</li> </ul>
西条の水について知っていることをイメージマップに書き、交流する。	<p>○西条の水についてたくさん知っていると思ったけど、西条の水はおいしいことと酒を造るのに使われることぐらいしか書けないな。</p> <p>○西条の水について、何も知らない。イメージマップに全然書けないよ。</p> <p>○西条にはどんな井戸があるか知りたいな。</p> <p>○西条の水を飲んだことがないから、飲んでみたい。他の水と何が違うのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■西条の水について知っていることをイメージマップに書かせることにより、身近にある西条の水について意外と知らないということを自覚させる。</li> <li>■西条の水について知るためにどのような活動をしたいかを話し合わせ、次時の活動として西条の水の試飲体験を設定する。</li> <li>■本時の振り返りとして、ビフォー・アフターシートを記入する。</li> </ul>
	<p>自分は西条の水について知らないという現実を自覚し、西条の水への関心が高まっている。</p>	

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>酒蔵通りに行き、複数の井戸水を試飲し、疑問や驚き等を交流する。</p>	<p>○いつも飲んでいる水より、冷たくておいしい。西条の水は、甘い気がするのはどうしてかな。 ○水道水にはおいがあるけど、西条の水にはにおいがいいな。 ○この井戸の水は、さっき飲んだ井戸の水と味が違う気がする。同じ西条の水なのに、どうして味が違うんだろう。 ○井戸の水を汲みに来ている人が結構いるな。どうして汲みに来ているのかな。 ○西条の水について知りたいことがたくさんあるな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 普段飲んでいる水や他の井戸水と比較しながら味わせるとともに、井戸の様子にも着目させる。</li> <li>■ 帰校してから西条の水を試飲した際の疑問や驚き、気づき等をワークシートに書き出させて交流することにより、「西条の水についてもっと知りたい。」という声を引き出す。</li> </ul>
<b>西条の水のナゾを追求しよう！</b>		
<p>西条の水のどんなナゾを追うのか、追求したい具体的な課題と課題解決に向けての方策を話し合う。</p>	<p>○西条の水の味について疑問をもっている人が多いね。全部の井戸の水を飲み比べてみたいな。 ○各井戸によって水の味が違う理由をつきとめたいね。水に詳しい人はいないかな。 ○水を汲みに来ている人は、どこから来ているのだろうね。それに、何に使っているのだろう。インタビューしてみるといいね。 ○社会で水道水は浄水場から来ていると習ったけど、西条の水はどこからどのようにして来ているのかな。 ○酒蔵の人に聞いたら分かるかな。聞いてみたいね。</p> <p>「西条の水の何について、どのように追求していくのか見通しをもち、課題解決に向けた意識が高まっている。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 西条の水について知りたいことや調べたいことを付箋に書き出させ、それをグループで比較・分類し、見出しを付けさせることにより、自分達が何に関心があり、どんなことを追求したいと考えているのかを明確にさせる。</li> </ul> <p><b>【社会】飲料水に関わる対策や事業について調べる学習活動を想起させる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各グループから出された見出しを類型化しながら板書し、具体的な課題にまとめていく。</li> <li>■ それぞれの課題を解決するためにはどのような方法がふさわしいかを検討させて、大まかな学習計画を立てる。</li> </ul>
<b>情報の収集 (16)</b>		
<p>全ての井戸水の飲み比べをし、井戸による水の味の違いを確かめる。</p>	<p>○同じ西条の水なのに、井戸によって味が違うね。私は「～の水」が気に入ったよ。普段飲んでいる水より断然おいしいよ。 ○西条の水はおいしいから、たくさんの人が井戸の水を汲みに来ているのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各井戸の水を飲み比べさせることで、同じ西条の水でも味が違うことを実感させる。また、自分のお気に入りの水を決めさせ、西条の水へのこだわりをもたせる。</li> </ul>
<p>井戸の水を汲みに来ている人にインタビューする。</p>	<p>○水を汲みに来ている人にインタビューしよう。アンケートでは時間がかかるから、フリップボードにシールを貼ってもらおう。 ○たくさんの人にインタビューしたね。結果を算数で学んだように、棒グラフにまとめてみると分かりやすいかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ どのようなことを聞けば、西条の水のおいしさが確かめられるかを考えさせ、各自でフリップボードを作らせて追求意欲を高める。</li> <li>■ フリップボードをもってインタビューし、その結果を学級でまとめ考察させる。</li> </ul>
<p>西条の水・水道水・ミネラルウォーターを飲み比べたり、三種類の水を使ったご飯やお茶の味比べを行ったりする。</p>	<p>○西条町だけでなく、八本松町や高屋町から水を汲みに来ている人もいるね。 ○水道水よりおいしいからという理由が一番多いね。 ○料理やお茶を入れるのに使う人が多いな。 ○西条の水はおいしくて人気なんだね。 ○本当に西条の水は他の水よりおいしいのか確かめてみたいな。 ○ご飯やお茶に使うと本当においしくなるのかも確かめてみたいね。</p> <p>○やっぱり西条の水は水道水やミネラルウォーターよりもおいしいよ。どれが西条の水か飲めばすぐに分かるよ。 ○ぼくは西条の水が一番おいしいと思ったけど、ミネラルウォーターの方がおいしいという人もいるね。 ○ご飯は違いがあまり分からないけど、お茶は色が全然違うね。水道水が一番濃くて、西条の水が一番薄いよ。 ○同じ水なのに、味が違うのはどうしてかな。 ○水に含まれるものが違うのではないかな。栄養教諭の先生に話を聞いてみようよ。</p> <p>「西条の水のおいしさを実感し、西条の水に愛着をもち、味の違いから次の問いをもっている。」</p>	<p><b>【算数】調べた結果を表やグラフに表す学習活動を想起させる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ インタビューの結果から、西条の水・水道水・ミネラルウォーターの飲み比べ、三種類の水を使ったご飯やお茶の味比べの活動を設定する。</li> <li>■ 三種類の水の味比べや三種類の水を使ったご飯やお茶の味比べを通して、西条の水のおいしさを実感させ、西条の水への愛着を深めていく。</li> <li>■ 水の味の違いやお茶の色の違いに着目させ、次の活動につながる問いをもたせる。</li> </ul>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>栄養教諭から水の成分の話 を聞き、水の硬度実験を行 う。</p> <p>専門家や酒造会社、西条の 水を利用しているパン屋の 方の話を聞く。</p>	<p>○水は含まれるミネラルの量によって軟水、硬水に分けられ、西条の水はその中間の中硬水なんだね。硬度が違うから水の味が違うんだね。</p> <p>○生で飲むには、軟水が一番おいしいと言われているんだ。それで、ミネラルウォーターの方がおいしいという人がいたんだね。</p> <p>○酒造りには、中硬水が適しているんだね。</p> <p>○同じ西条の水なのに、井戸によって水の硬度が違うよ。だから、井戸によって水の味が違うんだね。</p> <p>○酒蔵の井戸はどれも近くにあるのに、水の硬度が違うのはどうしてなんだろう。</p> <p>○西条の水は酒造りにどういいのかな。</p> <p>○酒蔵通りにあるパン屋は西条の水を使っていると聞いたよ。西条の水はパン作りにもいいのかな。</p> <p>西条の水の味と水の硬度との関係を理解し、次の問いをもっている。</p> <p>○西条の水は龍王山に降った雨が地下水となり、約50年かけて流れてくるんだね。</p> <p>○井戸によって水の硬度が違うのは、地下水が通る道が違うからなんだ。</p> <p>○西条の水は中硬水だから、ミネラルが豊富で、お酒の発酵を進ませておいしい酒ができるんだね。西条の水は杜氏さんにとって「命の水」なんだ。</p> <p>○パン屋さんは、西条の水が中硬水だから、パンの発酵が進み、柔らかくておいしいパンができるって言っていたね。</p> <p>西条の水と龍王山との関係、西条の水と酒造りや他の産業との関係を理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 栄養教諭の話や硬度実験の結果から新たに生じた疑問を出し合うことにより、次の活動へつなげる。</li> <li>■ 栄養教諭の話や硬度実験の結果から新たに生じた疑問を出し合うことにより、次の活動へつなげる。</li> <li>■ 環境学の専門家や酒造会社、西条の水を利用しているパン屋の方の話や硬度実験の結果から新たに生じた疑問を出し合うことにより、次の活動へつなげる。</li> <li>■ 環境学の専門家や酒造会社、西条の水を利用しているパン屋の方の話や硬度実験の結果から新たに生じた疑問を出し合うことにより、次の活動へつなげる。</li> <li>■ 環境学の専門家や酒造会社、西条の水を利用しているパン屋の方の話や硬度実験の結果から新たに生じた疑問を出し合うことにより、次の活動へつなげる。</li> </ul>
<b>整理・分析（2）</b>		
<p>これまでに得た情報を整理し、西条の水の価値を考える。</p>	<p>○杜氏さんは西条の水を「命の水」と言っていたね。それくらい酒造りには大切なんだね。同じように、パン屋さんにとっても大切な水だね。</p> <p>○水を汲みに来ている人にとっても、大切な水だよ。わざわざ遠くから、毎週汲みに来ている人もいたもの。</p> <p>○私達にとっても、大切な水だよ。西条の酒は私達にとって自慢なもの。西条の水がないと、西条の自慢がなくなるよ。</p> <p>○西条の酒が有名でなかったら、酒まつりも開かれないうえ、6年生で演じるオペラ「白壁の街」もできないものね。</p> <p>○西条の水は西条の町にとって、なくてはならない宝の水だね。</p> <p>西条の水の価値を実感している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 追求力を高め、西条の水は西条の水を利用する人々にとってはなくてはならない大切な水であることを捉えさせるために、「酒造りを行う人」、「西条の水を利用する店の人」、「水を汲みに来る人」と三つの立場から多面的に西条の水の価値を考えさせ、ベン図を活用して三つの立場に共通する価値を見いださせる。</li> <li>■ もし西条の水がなかったら自分達にどのような影響があるのかを考えさせ、西条の水はそれを利用する人だけでなく西条の町全体にとって大切な水であることを捉えさせる。</li> </ul>
<b>振り返り（1）</b>		
<p>西条の水についてのイメージマップを加筆・修正し、これまでの学びを振り返る。</p>	<p>○西条の水は町の宝だと思うようになったよ。</p> <p>○ほくは何度も酒蔵に行き、西条の水について教えてもらったよ。知らない人に聞くのは恥ずかしかったけど、勇気を出してお願いするとたくさん教えてもらえたよ。難しいと思うことにも挑戦していきたいな。</p> <p>○西条の水の源である龍王山を守る活動にも参加してみようかな。</p> <p>西条の水に対する自分の見方の変容に気づき、自分の成長や今後の目標を自覚している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「課題の設定」でかいた西条の水イメージマップを書き足したり修正したりして、西条の水への理解の深まりを明らかにする。また、加筆・修正は赤鉛筆で行い、学習前後の変容が一目で分かるようにする。</li> <li>■ 西条の水への理解が深まった要因や今後の目標を振り返りカードに記述させる。</li> </ul>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>課題の設定（２）</b>		
<p>西条の水が名水 100 選に選ばれていないという事実を知る。</p>	<p>○同じ酒造りが有名な灘や伏見は名水になっているのに、どうして西条の水は名水に選ばれていないの。 ○西条の水のよさが伝わっていないんだよ。西条の水のよさを多くの人に伝えようよ。</p>	<p>■児童の意識とのずれを生じさせるために、全国の特徴的な水を紹介した「名水 100 選」に西条の水は選ばれていないという事実を提示する。</p>
<b>西条の水のよさを伝えよう！</b>		
<p>水のよさを伝えるという課題解決に向け、どのようなことができるか話し合う。</p>	<p>○学校に新聞を作って掲示すると、全校児童や来校者に読んでもらえるね。 ○酒蔵通りのお店にパンフレットを置いてもらうようお願いしようよ。パンフレットなら場所も取らないし、レジの横に置いてもらえるかもしれないよ。</p> <p>効果や実現の可能性等、複数の視点から解決方法を分析し、実行への意欲を高めている。</p>	<p>■情報発信の場所を座標軸（視点：効果が高い・実現可能）に表しながら考えさせることにより、実現可能で効果の高いものを選択できるようにする。 ■マトリックスを用いて情報発信の方法の効果を分析させ、伝える対象に応じた方法を選択できるようにする。</p>
<b>まとめ・創造・表現（５）</b>		
<p>グループで選んだ方法で情報発信の準備をする。各グループの取組を交流し、改善を図る。</p>	<p>○新聞は、一番伝えたい事柄をはじめに書くと国語で学習したね。全校には、西条の水は西条にとって宝の水だということを一番に伝えようよ。 ○記事には、読む人の目を引く見出しを付けるんだよね。 ○私達は観光客に向けてパンフレットを作ろうよ。「西条の水と酒造りの関係」、「井戸の紹介」、「西条の水の使い方」、「西条の水を利用している人々」という構成にしようよ。 ○パンフレットに西条の水と龍王山との関係も加えると、西条の水は貴重な水だということを知ってもらえるのではないかな。</p> <p>多くの人に、西条の水のよさを伝えたいという思いが高まる。</p>	<p>【国語】伝えたい事柄を新聞やパンフレット等に表す学習活動との関連を想起させる。</p> <p>■伝える相手に応じて、伝える内容や構成を考えさせる。</p> <p>■各グループの取組を交流する際には、「伝える相手に応じた構成になっているか」、「伝えたいことがよく分かるか」という観点に沿って相互評価させる。</p>
<b>実行（１）</b>		
<p>各グループで選んだ方法で情報発信をする。</p>	<p>○お店にパンフレットを置いてもらえてよかった。多くの人にパンフレットを読んでもらい、西条の水のよさを知ってもらいたいな。</p> <p>実行したことへの達成感をもつ。</p>	<p>■情報発信の場を提供してもらえよう、児童に交渉にあたらせる。 ■情報発信の場には事前に連絡をしておく。場の提供が難しい場合は、断っていただいてよいことを伝えておく。 ■話す内容（活動の目的や経緯、お願い）や話し方（相手の目を見て、はっきり話す）について確認し、事前に練習させておく。</p>
<b>振り返り（１）</b>		
<p>単元の学習を振り返る。</p>	<p>○西条の水について多くのことを知るうち、西条の水は西条に住む自分達にとって大切な水だと思ようになりました。西条の水を大切に、そのよさを伝えていきたいです。 ○自分達が作ったパンフレットを店に置いてもらうようお願いするのは勇気がいりました。この学習を通して、進んで行動する力が付いたと思います。</p> <p>自分の学びをメタ認知するとともに、地域への愛着を深めている。</p>	<p>■評価力につなげるためにビフォー・アフターシートを活用し、西条の水に対する自らの考えの変容や成長を自覚することができるようにする。</p>

### 【児童生徒の変容】

西条の水の試飲体験後には、どの児童もワークシートいっぱいに疑問や驚きを書き出していた。また、西条の水のよさを伝えるために、実現可能で効果の高い場所や相手に応じた方法を積極的に検討する姿から、「課題発見力」を高めることができたことと捉えている。

「情報の収集」では、9割以上の児童が、休日や放課後に取材やインタビュー活動を行ったり、資料やインターネットから情報を収集したりしていた。また、「整理・分析」では、全員が三つの立場に共通する西条の水の価値を考えることができていた。これらのことから、「追求力」を高めることができたことと考える。

単元末には、「西条の水、その水で造る西条の酒が全国にとどまらず世界に広まってほしい」などと、全ての児童が西条の水の価値を実感し、それを広めたいという内容の記述をしていた。また、単元の学びを振り返り、自分の成長を自覚する記述が多く見られたことから、育成したい資質・能力の「評価力」を高めることができたことと捉えている。

総合的な学習の時間

第6学年

育成を目指す資質・能力 【コミュニケーション能力】【知識・情報活用能力】  
【主体性】【協働性】【自己肯定感】【よりよく生きようとする力】

単元名

## 伝統芸能から学ぼう

### ～美土里小6年 安芸高田神楽応援プロジェクト～

【単元の概要】

児童は、自分たちの町で神楽を題材にテレビドラマが作成されると聞き、身近にある「神楽」についてより詳しく学びたいと興味・関心を高めます。しかし、他市からの転入生の一言「えっ、神楽って何？」をきっかけに、それほど神楽の認知度は高くないのかと疑問を抱きます。そこで、本市や他市などの小学生に呼びかけ実態調査を行い、その結果を基に、神楽応援プロジェクトを立ち上げ、様々な取組を進めていきます。

学習指導要領における領域・内容

地域や学校の特色に応じた課題

他教科等との関連

国語、算数、音楽、家庭

図画工作、特別活動（学校行事）

◆単元の目標

美土里町の伝統芸能「神楽」についての体験活動や地域の人々の願いや生き方を学ぶことを通して、自分たちの住む地域を誇りに思い、故郷を愛する心情を培う。また、自分たちにできることを考えていく学習を通して、自己の成長を振り返り、自分の生活をよりよくしていこうとする態度を養う。

◆単元の展開（全 50 時間）

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p><b>情報の収集、整理・分析（6）</b></p> <p>美土里町で神楽を題材にテレビドラマが作成されることをきっかけに、神楽の認知度について話し合う。</p> <p>神楽の認知度を調べるために、安芸高田市内の小学生と、転入生の転入前の学校（広島市）、保護者・地域の方にアンケート調査を依頼し、集計・分析を行う。</p>	<p>○テレビで美土里町の神楽がドラマになるんだって。やっぱり、神楽は有名だよな。</p> <p>○「えっ、神楽って何？」（転入生）</p> <p>○神楽を知らない人もいたみたいだよ。</p> <p>○どれぐらいの人が神楽を知っているのかな。</p> <p>○アンケートをとってみるのはどうかな。</p> <p>「転入生の言葉をきっかけに、神楽はそれほど知られていないのではないかと疑問を感じる。」</p> <p>＜アンケート前＞</p> <p>○アンケートやインタビューをして、たくさんの人に神楽について聞いたらどうかな。</p> <p>○どんな人に聞いたらいいかな？</p> <p>○安芸高田市以外の人にも聞いてみたいな。</p> <p>○神楽を観る頻度も聞いてみよう。</p> <p>＜アンケート後＞</p> <p>○どんなグラフで表せばよく分かるかな。</p> <p>○神楽を観たことがあるかないかの割合は、算数で学んだ円グラフが分かりやすいかな。</p> <p>○広島市でも神楽を知っていると答えている人は多いね。でも、実際に観たことがある人数の割合には大きな差があるよ。</p> <p>○安芸高田市でも町によって割合が違うね。</p> <p>○自分たちがイメージしていたより、神楽を観ている人は少ないみたいだよ。</p> <p>○もっと多くの人に神楽を観てほしいな。</p> <p>「神楽は有名だと思っていた自分たちの予想とのギャップから、もっと神楽を知ってもらいたい」という気持ちを抱く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■（事前の取組）転入生の神楽に対する認知度について、事前に把握しておく。</li> <li>■（事前の取組）朝の会等で機会をとらえて、神楽のドラマ制作について話しておく。</li> <li>■テレビドラマの予告CMを視聴させる。</li> <li>■自分たちの認知度とのズレを感じ始めた児童に、「どうやったら神楽の認知度を調べられるかな」と投げかける。</li> <li>■安芸高田市内の小学校や転入生の転入前の学校に事前にアンケートの依頼をする。</li> <li>■800人以上のアンケート調査を効率よく整理するため、どうやったら結果が明確になるか児童に考えさせる。児童が直接パソコンに数値を入力すると同時にグラフ化されるよう事前に準備しておく。グラフ化された情報を基に、神楽を観る頻度や地域の項目に焦点化させ、分析を行わせる。</li> </ul> <p>【算数】割合を表すグラフの学習と関連させ、効果的な表し方を想起させる。</p>
<p><b>課題の設定（1）</b></p> <p>「安芸高田神楽応援プロジェクト」を発足し、神楽を多くの人に知ってもらい、観てもらうための計画を立て、学習の見直しをもつ。</p>	<p>○神楽を知ってもらうためには、まず自分たちが神楽の魅力をもっと知らないといけないうね。</p> <p>○神楽に詳しい人の話を聞きたいな。</p> <p>○神楽の魅力を伝える場合は、広報誌にもあった市外からもたくさん人が集まる9月の美土里</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■安芸高田市の広報誌を準備しておき、神楽に関係する年間のスケジュールを確認させる。</li> </ul>
<p>美土里小6年 安芸高田神楽応援プロジェクト 発足</p>		

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
	<p>○広報誌を見ると、1月には安芸高田神楽が東京で公演をしているよ。私たちにも何かできないかな。</p> <p>神楽応援プロジェクトを立ち上げ、具体的な方向性を話し合う中で、自分たちの力で神楽を盛り上げようとする意識が高まる。</p>	<p>■「美土里こども神楽発表大会（第3セクター「神楽門前湯治村」と地域の美土里こども神楽連絡協議会による行事）」の主催者と事前の連携を図っておく。</p>
<b>情報の収集、整理・分析（12）</b>		
<b>第1弾 安芸高田神楽 調査隊</b>		
<p>神楽門前湯治村を見学し、安芸高田神楽協議会会長から聞き取りを行う。</p>	<p>○神楽はいつから始まったのかな。</p> <p>○この地域の神楽について詳しい人から歴史について聞いてみたいな。</p> <p>&lt;聞き取り後&gt;</p> <p>○協議会会長さんから、この地域の神楽の歴史について、くわしく話していただいたね。</p> <p>○昭和の戦争時代には、神楽の奉納が難しくなったんだって。その危機を救った人が「佐々木順三」さんだよ。</p> <p>○神楽の危機を救うために、たくさんの方が観て楽しめる要素が詰まった「新舞」を考えただね。それが、この地域に広がって、現在まで受け継がれているんだね。</p> <p>○この伝承の歴史も神楽の魅力の一つだね。</p>	<p>■調べ学習によって、児童の知識がより深まるように、事前に知っていることをウェビングでまとめておき、新たに分かったことを書き足していく。</p> <p>■児童のつぶやきから、誰にどんな話を聞けばいいか考えさせる。</p>
<p>「安芸高田ものがたり」を活用し、郷土の発展に尽くした人について調べる。</p>	<p>神楽の歴史について調べる中で、この地域に根付いている神楽にも存亡の危機があり、それを救った先人の活躍を知り、長い間受け継がれている神楽や先人に尊敬の念をもつ。</p>	<p>【国語】目的や意図に応じて取材し、情報を関係付ける学習を想起させる。</p>
<p>神楽団員やお面製作者から聞き取りを行う。</p>	<p>○お客さんに喜んでもらうために、必死で練習しているんだね。</p> <p>○お面作りは、一つ一つの作業を時間をかけて丁寧に行っているよ。さすがプロの仕事だね。</p> <p>○神楽に携わる多くの方が、自分の役割を一生懸命果たしているんだね。</p> <p>○苦労されてきた神楽関係者のためにも、しっかりと神楽の魅力を伝えて、安芸高田神楽を広めていこうよ。</p>	<p>■安芸高田神楽協議会会長や神楽団員、お面製作者に話を聞かせていただくよう依頼する。</p> <p>■ゲストティーチャー、インタビューの依頼を子供たちが行うことで、活動に必然性をもたせる手立てとし、また、コミュニケーション能力の育成につなげる。</p>
<p>身近にいる神楽団員にアンケート調査を行い、集計・分析を行う。</p>	<p>地域の伝統芸能神楽を盛り上げようと、多くの方が自分の役割に応じて、努力していることに気付く。</p>	<p>■安芸高田市ものがたり（郷土理解学習副読本：安芸高田市教育委員会編集）を活用し、先人の故郷を愛する思いから神楽が地域に根付いていることに気付かせる。</p> <p>■ゲストティーチャーと事前に連携を図り、神楽に対する情熱や神楽を行うこと、お面を制作する上での苦労を話してもらう。</p>
<p>調べ学習を通して分かったことや感じたことを交流し、情報を共有する。</p>	<p>○自分たちの知らないこともたくさんあったね。</p> <p>○神楽っていいね。安芸高田の自慢だよ。</p> <p>○苦労されてきた多くの神楽関係者のためにも、しっかりと神楽の魅力を伝えて、安芸高田神楽を広めていこうよ。</p> <p>○次は、伝える場「美土里こども神楽発表大会」について具体的に考えていこうよ。</p>	<p>■身近にいる神楽団員（児童の親や祖父母等）には、アンケートを準備し、「神楽の魅力」、「苦労」、「児童に伝えたいこと」など項目別に回答をお願いする。そのアンケートとゲストティーチャーからの聞き取りを手作業で集計、分析することで、より詳しい聞き取り調査の材料にさせる。</p> <p>■1回目のアンケートの集計・分析方法と比較させ、その目的に応じた集計の仕方があることに気付かせる。</p>
<p>安芸高田神楽の歴史や携わっている方々の思いから、自分たちも地域の伝統芸能を広めていくという強い思いをもつようになる。</p>		
<b>課題の設定（1）</b>		
<b>第2弾 美土里こども神楽 盛り上げ隊</b>		
<p>昨年度の美土里こども神楽発表大会の様子を見て、今後の方向性を話し合う。</p>	<p>○昨年度の6年生が司会をしているよ。アンケートも取っているみたいだね。</p> <p>○ちらしみたいなのも配っているよ。何が書いてあるのかな。</p> <p>○自分たちに何ができるか考えようよ。</p>	<p>■昨年度の美土里こども神楽発表大会の写真や動画を見せて、会場や活動のイメージをもたせる。</p>
<p>昨年度の様子から自分たちの活動のイメージをもつ。</p>		

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>情報の収集、整理・分析（3）</b>		
<p>美土里こども神楽発表大会に向けて、具体的な取組を話し合う。</p>	<p>○集客数を増やすために、「ホームページ」を使って宣伝しようよ。ちらしを配るのもいいんじゃない。フェイスブックは、親とかもよくやっているよ。効果がありそうだね。</p> <p>○お太助フォン（有線放送）で、市内の人に、神楽発表大会の日程を伝えたら来場者が増えるんじゃないかな。</p> <p>○お客さんに喜んでもらうために、神楽の魅力をかいたパンフレットを渡したり、神楽の絵を飾ったりするのはどうかな。神楽の衣裳体験も喜ばれると思うよ。</p> <p>○衣裳体験は、神楽団の人に聞いてみたら、できるかもしれないよ。</p> <p>課題解決に向け、「費用」や「私たちが実現可能か」等の視点で取組を自分事として考えている。</p>	<p>■ブレインストーミングの手法を用いて、「集客数を増やす」「お客さんに喜んでもらう」の2点について、たくさんのアイデアを出させる。実現可能かどうかは後日検討することを伝え、まずは、多様な意見を出させる。</p> <p>■実際に、自分たちの手で取組が実現可能かどうか、様々な思考ツールや手法を活用させ、児童の考えを広げたり、整理・分析・評価させたりする。</p> <p>■演目の見所について聞き取った内容や6年生のコメント、主催者が作成したポスターの縮小版を両面印刷し、ちらしを作成する。</p>
<b>まとめ・創造・表現（9）</b>		
<p>話し合いで決まった実現可能な取組について、役割を分担し、協力しながら準備を行う。</p>	<p>○わたしは、ちらしを書くために、子ども神楽団の友達に演目の見所を聞かぬ。</p> <p>○ほくはお太助フォンの放送原稿を考えるよ。</p> <p>○神楽の絵や神楽の魅力パンフレットは、どんなことに気を付けて作ればいいのか。</p> <p>○図工で学習したデザインや色使いについて考えながら、安芸高田市をイメージしたプレゼント用の神楽のしおりを作るよ。</p> <p>他教科での学びを生かし、取組を進めていく。</p>	<p>【国語】「事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書く」単元と関連させ、神楽のよさを効果的に伝えるパンフレットの作成に生かせるようにする。</p> <p>【図画工作】「見たこと、伝えたいことから表したいことを描く」学習と関連させ、効果的な神楽の絵やしおりの作成につながるよう、学習したデザインを想起させる。</p>
<p>安芸高田市内小学6年生対象神楽ワークショップや商業施設で、宣伝活動を行う。（商業施設での宣伝活動は課外活動として実施）</p>	<p>○市内の小中学生にも、宣伝活動をするのができたね。</p> <p>○商業施設では600枚もちらしを配ることができたよ。相手によって、話し方や目線を変えることが大事だと分かったよ。</p> <p>相手に合わせたちらしの渡し方や話し方を考えることなど、相手意識をもつことの大切さに気付いている。</p>	<p>■安芸高田市観光協会と連携を図り、宣伝活動の時間を確保する。</p> <p>■相手の年齢や身長などから、どのような接し方がよいかコミュニケーションの取り方を考えさせる。</p> <p>■市内6年生対象の神楽ワークショップで協力してもらったアンケートの結果を掲示したり、パンフレットを配布したりして還元を図る。</p>
<b>実行、振り返り（2）</b>		
<p>美土里こども神楽発表大会へ参加し、取組を実行し、アンケートを基に活動を振り返る。（課外活動として実施）</p>	<p>○衣裳体験では、衣裳の魅力をしっかり伝えることができたね。パンフレットもあっという間になくなったね。</p> <p>○アンケートには、「神楽の魅力が伝わった」「また観に来たい」と多くの人を書いてくれたね。</p> <p>活動に達成感を感じ、地域の伝統芸能のために役立ったという自己肯定感が高まる。</p>	<p>■司会やちらし配り、衣裳体験など役割を分担して取り組ませる。自分たちの活動をしっかりとやり切らせるとともに、お客さんの反応に目を向けるよう声かけをしている。</p> <p>■来場者からのアンケートを基に、児童の活動を評価し、達成感を味わわせるとともに活動の価値を高める。</p>
<b>課題の設定（1）</b>		
<p>美土里こども神楽発表大会のアンケート結果と、単元当初の認知度調査（地域・保護者のデータを抽出したもの）の結果から、新たな課題を見付ける。</p>	<p>○アンケートに「観客や出演者にインタビューする司会進行役の人はもう少し頑張ってもらいたい」という声がいくつかあったね。</p> <p>○よくなかったところを改善してもう一回挑戦したいな。</p> <p>○認知度調査のデータでは美土里小の保護者の3割は、神楽を観ている回数が少ないよ。</p> <p>○保護者が観ていたら、美土里小の他の学年の子たちももっと神楽を観るようになるんじゃないかな。</p> <p>○学習発表会なら、たくさんの保護者に神楽の魅力を伝えられるよ。</p> <p>新たな課題に気づき、解決したい意欲が高まる。</p>	<p>■第2弾のアンケートから課題となる点を見だし、その改善を図ろうとする意欲をもたせる。</p> <p>■児童が自ら課題に気付けるように、認知度調査の結果をグラフ化した情報を提示する。</p> <p>■保護者に伝えるために効果的な場が学習発表会であること、また、6年生が務める「司会進行」役がコミュニケーション能力の発揮の場となることに、子供たちが気付くことができるようにする。</p>
<b>第3弾 学習発表会で安芸高田神楽 伝え隊</b>		

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<b>情報の収集、整理・分析（２）</b>		
<p>学習発表会で保護者に伝える内容を話し合う。</p>	<p>○神楽の魅力伝えるためには、どんな内容をどんな方法で発表するのいいかな。 ○方法として、劇やプレゼンテーションがあるね。お囃子を和太鼓でやるのもいいかもね。</p>	<p>■第2弾の課題解決で取り入れた手法（ブレンストーミングや座標軸、KJ法など）を想起させ、児童自らが課題解決の方法を決定できるように促す。</p>
<b>まとめ・創造・表現、実行、振り返り（７）</b>		
<p>課題意識をもって練習を行い、学習発表会本番で取組を実行する。その後、活動を振り返る。</p>	<p>○団員さんの熱い思いは、パネルにして提示した方がよく伝わるかもしれないね。 ○神楽囃子のリズムを取り入れた和太鼓演奏で、自分たちの思いの強さを表現したいね。 ○たくさんの保護者や地域の方の前で、自分たちの取組を発表することができたね。保護者アンケートでは、観る回数が少なかった人が、もっと観たいと答えてくれたよ。</p> <p>「目的達成のために、主体的・協働的に活動していくことで大きな達成感を味わう。」</p>	<p>【音楽】「和音の音で旋律づくり」をする学習と関連させ、和太鼓の特徴と神楽囃子の旋律を生かした演奏につなげる。</p> <p>【特別活動】学校行事（学習発表会）と関連させ、保護者・地域の方に披露することで達成感につなげる。</p> <p>■期間をあけて保護者・地域に意識の変化を問うアンケートを取り、自分たちの活動によって、人の意識や行動が変わることを知らせ、児童の活動の価値を高める。</p>
<b>課題の設定、まとめ・創造・表現（３）</b>		
<b>第4弾 東京公演で安芸高田神楽 広め隊</b>		
<p>美土里こども神楽発表大会での活動や、学習発表会のことを聞いた安芸高田神楽東京公演（ひろしま安芸高田大都市圏プロモーション実行委員会）の担当者から、東京公演の観客に喜んでもらうために力を貸してほしいという依頼を受け、自分たちができることを考える。</p>	<p>○実際に自分たちが行くことはできないから、担当者に渡してもらえる方がいいね。 ○神楽を初めて観る人も多いらしいよ。いつも手にする小物をもらったら喜んでもらえるんじゃないかな。 ○家庭科で学んだことを生かして、神楽キャラクターをつけたポーチを作ろう。</p> <p>「東京公演という大きな舞台で、自分たちの活動が役に立つという期待を抱く。」</p>	<p>■昨年度の東京公演の会場の様子を写真で伝え、どのようなことができるか話し合わせる。</p> <p>【家庭】目的に合わせて布を選び縫い方を工夫して製作する学習と関連させ、ポーチの作成に生かす。</p>
<b>振り返り（１）</b>		
<p>東京公演の様子を担当者から聞き、自分たちの活動を振り返る。</p>	<p>○小物はあっという間になくなったみたいだよ。喜んでもらえたようだね。 ○東京でも安芸高田神楽は広まっているみたいだよ。神楽は安芸高田の宝だね。</p>	<p>■東京公演に帯同した担当者の方からいただいた手紙の紹介を通して、児童の活動を評価し、自分たちの活動の広がりを実感させるとともに充実感、自己有用感を味わわせる。</p>
<b>振り返り（２）</b>		
<b>第5弾 安芸高田神楽応援プロジェクトを振り返ろう</b>		
<p>安芸高田神楽応援プロジェクト全体を振り返り、自己の成長を作文にまとめる。</p>	<p>○ぼくは子ども神楽団に所属していたけど、神楽の歴史はあまり知らなかったよ。詳しく調べていく中で、もっと神楽を好きになったよ。神楽は、安芸高田の宝だね。 ○わたしは、協力すれば大きなことができると知ったよ。これからも、地域のために自分のできることをやっていきたいな。 ○ちらし配りや神楽発表大会の司会などの経験を通して、相手や場に応じたコミュニケーションの取り方に自信がもてたよ。</p>	<p>■これまでの児童の活動を写真で時系列にそって提示したり、児童が活動ごとに振り返りを書いたファイルを読み直させたりすることで、児童自らが自己の変容に気づき、成長を感じ取れるようにする。また、本単元の育成したい資質・能力の視点を提示し、特に成長した部分について振り返らせる。</p>

### 【児童生徒の変容】

多くの児童にとって小さい頃から身近にある「神楽」。その中で、転入生の言葉をきっかけに、自分たちで800人以上の神楽の認知度調査を行ったり、実際に伝統を受け継いできた神楽団員の方の話を聞いたりする中で、地域の伝統芸能「安芸高田神楽」に愛着を抱くようになった。児童の振り返りの中にも「今までは神楽に興味はなかったけど、神楽について調べているうちに楽しくなって、地域の神楽を観に行くようになった。」と記述した児童もいる。また、単元が進むにつれて、課題解決に向けて自分たちで情報を整理し、自然と解決方法を考えていく姿が見られるようになった。さらには、「今までは友達と協力して作業するのはあまり好きではなかったけど、みんなで考えると新しいアイデアが生まれて、大きなことができるから、これからもみんなと協力して活動したい。」「これまでは、人前に出たり地域の人と話したりするのが苦手だったけど、この学習を通して自分に自信がもてるようになった。」と答える児童も多かった。

このように、地域の素材を最大限活用し、児童が学び応えのある課題を繰り返し追究することで、「コミュニケーション能力」や「主体性」、「協働性」等の育てたい資質・能力の高まりが見られたと考える。



総合的な学習の時間

第3学年

育成を目指す資質・能力

【課題発見・解決力】【主体性・積極性】

【自己理解・自らへの自信】

単元名

## お互いの命を守りあう(防災学習)

### 【単元の概要】

防災に対する関心が高まっている中、坂町内でも昨年6月、大雨により50箇所以上土砂崩れが発生し、避難所として指定されている中学校に避難してくる地域の方もいました。海や山に囲まれている坂町では、土砂災害や津波は他人事ではありません。こうした状況から、実際に防災訓練を自分たちで企画・運営し、主体的に行動する態度を育成するとともに、これまでの「守られる立場」から「守る立場」へと意識を変革させていきます。

学習指導要領における領域・内容  
地域や学校の特色に応じた課題

他教科との関連

国語、社会、理科、技術・家庭、保健体育

### ◆単元の目標


- ・災害についての正しい知識と、防災の在り方について理解を深める。
- ・防災訓練の計画立案や災害ボランティアの学習を通して課題に気づき、その課題解決へ向けて他者と協働しながら、学び方やものの考え方を身に付ける。
- ・地域と連携することにより、家庭や地域社会の一員としての自覚を高め、災害時に行動できる実践力を培う。

### ◆単元の展開 (全 30 時間)

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p><b>情報の収集 (6)</b></p> <p>広島県や坂町の自然災害について出し合う。</p> <p>イメージマップを記入し、「防災」について思い付くこと、連想したことを基に課題を焦点化する。</p> <p>インタビューや出前講座等を通して、広島県や坂町の状況や取組を知る。</p>	<p>○昨年土砂崩れが50箇所以上あってこわかったね。 ○坂中学校に避難してきた人もいたね。 ○サンスターホールにも避難できるよ。 ○広島市でも大規模な土砂災害が発生していたよね。テレビで何度もみたよ。 ○大雨になったときに、「危ない!」と思ったことが何度かあるよ。</p> <p>自然災害が身近な問題であることを認識する。</p> <p>○理科の授業で大雨の時の映像を見たけど、積乱雲がもくもくと広がって、スピードも速かったね。そして、アメダスの動きを重ねて見ると、赤いマークが長時間留まっていたよ。 ○保健体育で習ったけど、災害の種類によって怪我の種類も違ってくるんだよね。どんな怪我にでも対応できるようにになりたいなあ。 ○技術・家庭では、地震が発生したら、まず扉やドアを開けることや、持ち出し袋を定期的に点検することなどが大切だと学んだね。 ○坂町では災害に備えてどんな準備をしているのだろう? 役場の人に聞いてみようよ。</p> <p>広島県や坂町では、どんな取組をしているのかわかりたくなる。</p> <p>○社会の調べ学習で、100年前に発生した土砂災害の石碑が二つの地区にあることが分かったね。 ○全国で広島県が土砂災害の発生が一番多いことが出前講座で分かったよ。 ○災害時には、住民みんなで助け合う必要があるね、自分達も力になれるかな。</p> <p>自分たちにも何かできることがあるのではないかと感じ始める。</p>	<p>■ 身近な地域の特色をまとめた取組を、キャリアノート中心に振り返らせる。</p> <p>■ 昨年度の3年生が行った防災学習の新聞記事や放映されたテレビ番組を観させる。</p> <p>○【理科】担当教員と連携し、「大地の変化」、「天気とその変化」との関連を想起させる。</p> <p>○【保健体育】担当教員と連携し、「自然災害による傷害の防止」との関連を想起させる。</p> <p>○【技術・家庭】担当教員と連携し、「災害に備えた住まい方」との関連を想起させる。</p> <p>■ 自然災害に関して、これまで他教科でどのようなことを学習してきたかを想起させる。 □ (配慮を必要とする生徒への支援) イメージマップでのつながりを意識させる。</p> <p>■ 生徒の情報収集する活動において、連携が必要と想定される外部機関等について、学年会で見通しをつけ役割分担する。</p> <p>■ 県や町の防災担当者と事前に連携し、それぞれの防災対策を把握する。</p> <p>■ 効果的な情報収集の方法を考えさせる。</p> <p>○【社会】担当教員と連携し、「自然災害と防災への取り組み」との関連を想起させる。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>役場の人を招いてパネルディスカッションを行い、現状を理解したり、意見交換したりする。</p>	<p>○被災地では生死と向き合う場面があるんだ。 ○家族と連絡が取れないのは、たまらなく不安だよ。 ○保管室に図面があり、避難用具がどこにあるかがすぐ分かるよ。 ○避難所には福祉避難所等、いろんな種類の避難所があるんだね。 ○僕の家では災害時に持ち出し袋を用意しているよ。 ○人手が足りないこともあるんだね。 ○中学生も頼りにされているんだ。 ○避難所で、どのようなことが自分たちにできるだろう。 ○自分たちで避難所を作ってみようよ。</p> <p>中学生でも避難所で果たせる役割があることを知るとともに、先輩も避難所開設に取り組んできたことから、自分たちも避難所を開設してみたいという気持ちが高まっていく。</p>	<p>■災害や防災について調べたことをまとめさせ、防災について役場の人と意見交換させる。 ■事前に役場の人と連携しておき、「災害時は、避難所の人手が足りない。君たちの力が必要だ。」という趣旨の発言をしてもらい、生徒の意欲を喚起する。 □（配慮を必要とする生徒への支援）自分の家庭での取組を想起させる。 ■役場の方のコメントから、中学生として果たせる役割があることに気付かせる。 ■「守られる立場」という意識から「守る立場」という意識に徐々に変化していることに気付かせる。</p>
<b>課題の設定（3）</b>		
<p>「避難所を開設する」という課題を設定する。</p>	<p>○一番サポートを必要としている人は誰だろう？ ○僕たちや大人よりも、体の自由が利かないお年寄りや、小さい子供たちかなあ、昨年はお年寄りを避難させたよね。今回は小学生かな？ ○坂町は、三つの地区に分かれているね。</p>	<p>■課題を設定し、情報や知識を収集・選択・活用し、因果関係を推測したりして考え、課題解決に向かわせる。</p>
<b>三つの地区で避難所を開設し、避難してきた小学生を守る方法を考えよう。</b>		
<p>課題の解決に向けた方策について多角的、多面的に協議する。</p>	<p>○どのような活動ができるかな？ ○以前に取り組んだイメージマップを参考に深く考えてみよう。 ○課題を解決するためには、六つの活動に分類できたよ。（読み聞かせ班、受付・施設案内班、救護班、食料班、学習班、レク班） ○ところで、小学生のことをほとんど知らないな。 ○職場体験学習で小学校に行ったけど、すごく元気が良かったよ。でも、もっと小学生のことを知りたいな。</p> <p>小学生のことを知りたいという、新たな課題を発見し解決に向かう。</p>	<p>■グループごとに課題を解決するために必要な「ひと」や「こと」、「もの」は何かを考えさせる。また、なぜそれが必要なのか、説明させる。</p> <p>○【技術・家庭】担当教員と連携し、「野菜の調理を工夫しよう」との関連を想起させる。 ○【保健体育】担当教員と連携し、「応急手当の意義と心肺蘇生」との関連を想起させる。</p>
<b>情報の収集（4）</b>		
<p>小学生の生活実態を把握するため、小学校に行き、先生にインタビューしたり、参観したりする。</p>	<p>○とても元気がよくて、国語や算数でどんなことを習っているのか分かったよ。 ○よそ見をしたりしている児童を集中させる先生はすごいな。何かコツがあるのかな。</p> <p>収集した情報を精選し、課題解決に向かう。</p>	
<p>グループごとに課題を解決するために関係機関と連携し、必要なものに関する情報を収集する。</p>	<p><b>読み聞かせ班</b> ○読み聞かせでは、大きな声を出そう。 <b>受付、施設案内班</b> ○各避難施設では、用具置き場の図面があったね。 <b>救護班</b> ○三角巾1枚で様々な処置ができるんだ。 <b>食料班</b> ○不安な時は、温かい食物がいいんだね。 <b>学習班</b> ○小学校の教科書を参考に、問題をつくろう。 <b>レク班</b> ○一人ぼっちを出さないようにしよう。</p>	<p>■防災について学んだことや小学校で収集してきた情報を基に、低学年児童の事態に応じた、取組を考えさせる。</p> <p>○【技術・家庭】担当教員と連携し、「私たちと家族・地域」、「幼児の観察記録」との関連を想起させる。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
	<p>ただ情報収集するだけでなく、より効果的になるよう考える。</p>	
<p><b>整理・分析（3）</b></p> <p>関係機関で収集した情報を基に活動内容を生徒同士で評価・改善しながら、課題の解決に向かう。</p> <p>※右欄の「→」は、各グループが情報収集により気付いた注意点や課題解決に向けての取組事項を表している。</p>	<p><b>読み聞かせ班</b> ○読み聞かせでは、大きな声を出そう。 →ボイストレーニングをして抑揚をつけよう。 →避難所にいるときの心情に配慮した本を選んだり、抑揚に気を付けたりした方がいいね。</p> <p><b>受付、施設案内班</b> ○各避難施設では、用具置き場の図面があったね。 →写真を撮って貼れば、実物がすぐに分かり速く持ち出せるよ。 →避難用具の「位置」、「名称」、「写真」がセットになるね。</p> <p><b>救護班</b> ○三角巾1枚で様々な処置ができるんだ。 →実際に小学生に巻いてあげよう。 →レジ袋が手袋がわりになるんだね。</p> <p><b>食料班</b> ○不安な時は、温かい食物がいいんだね。 →豚汁なら栄養価も高く、安価で、旬な野菜を使えるね。 →熱過ぎても食べにくいので、具材を小さくしてみよう。 →具材を小さくすると食べやすいし、火の通りが速くなるね。</p> <p><b>学習班</b> ○小学校の教科書を参考に問題を作ろう。 →採点のとき、○は大きくつけよう。</p> <p><b>レク班</b> ○一人ぼっちを出さないようにしよう。 →みんなで声をかけたり、参加人数を把握しておこう。 →気持ちを落ち着かせるために塗り絵も取り入れよう。</p> <p>「「してあげている」気持ちから、「してみたい」という気持ちに変化していく。」</p>	<p>○【国語】担当教員と連携し、「場面に応じて話そう—条件スピーチ活動—」との関連を想起させる。</p> <p>■相手との相違点や共通点を理解した上で、相手の思いを受けとめ、互いに高まり合わせる。</p> <p>■教師の手立て・声かけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやったら不安が取り除けるだろう？</li> <li>・用具をすぐに取り出すためにはどうしたら良いだろう？</li> <li>・災害によって、けがをする個所が変わるんだよね。対応するにはどうしたらいいかな。</li> <li>・小さい子供が汁物を食べるときに、どんな苦労があるかな？</li> <li>・勉強でやる気を引き出すにはどうすればいいかな？</li> <li>・小学生のみんなが楽しく過ごせるようにしたいね。</li> </ul>   <p>■まとめから課題解決に向けての改善策を焦点化する。</p> <p>■教師の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気になる内容の本ならば、避難所生活の苦しさや寂しさを、少し忘れることができるかもね。</li> <li>・いざと言うときに、すぐに用具を出すことができれば、被害を少なくすることにつながるね。</li> <li>・グループに分かれると効率も良くなり、集中力も高まるね。</li> <li>・容器が持ちやすかったら、こぼさないで済むね。</li> <li>・ヒントを出すと、諦めず最後までやり切れそうだね。</li> <li>・遊びたい子供だけでなく、落ち着きたい子供のことも考えているね。</li> </ul>
<p><b>まとめ・創造・表現（2）</b></p> <p>グループで改善した活動内容をまとめ、分かりやすく全体に発表する。</p>	<p>○本も元気が出るような内容にしているんだね。 ○写真があれば、用具がどれなのかすぐ分かるね。 ○グループに分かれると、全員が体験できるんだ。 ○容器も持ちやすさを考えているね。 ○問題を解く時の、ヒントが3段階になっているんだ。 ○バタバタしないレクがいいね。</p> <p>「グループごとに進捗状況を説明し、共感し合う。」</p>	
<p><b>整理・分析（2）</b></p> <p>発表内容をお互いに評価し合い、改善する。</p>	<p>○壁側に読む人がいると、集中して聞いてくれるよ。 ○用具名にふりがなを付けたら読みやすいね。 ○体験の順番をはっきり決めた方がいいね。 ○こぼれたときを想定して雑巾を多めに用意するといいよ。 ○プリントに「できましたシール」を貼れば喜ぶかもね。 ○うまくいった時に拍手をするのはどう？</p>	

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p style="text-align: center;"><b>実行（6）</b></p> <p>三つの地区会場に分かれ、小学校低学年を対象に防災訓練を運営する。 六つのグループに分かれ、これまでの取組を生かし役割を果たす。</p>	<p>{よりよいものにしていこうという気持ちが出てくる。}</p> <p>○読み聞かせで、登場人物によって声色を変えたので、児童が身を乗り出して聞いてくれて嬉しかったな。 ○豚汁で具材を細かく切ったので、「食べやすい」と言って食べてくれたよ。 ○言う事を聞かない児童もいたけど、小グループに分けてプリントをしたから、最後まで頑張ることができたね。 ○止血の方法が分かってよかった。この経験を生かしていきたいな。</p> <p>{守られる立場から守る立場に変わっていることを実感する。}</p>	  <p>■ 自らの学びの高まりをメタ認知させるため、【知識】、【スキル】、【意欲・態度】、【価値観・倫理観】に対応した視点から振り返らせる。</p> <p>○【社会】担当教員と連携し、「持続可能な社会に向けて」との関連を想起させる。</p>
<p style="text-align: center;"><b>振り返り（2）</b></p> <p>自分たちの取組を振り返るとともに、これからの生き方を考える。</p>	<p>○小さい子は何を考えているか分からないので苦手だったけど、小さい子の目線で、分かる言葉でしゃべってあげることが大切だと思った。 ○以前の自分だったら、災害でパニックになって人のことまで考えられなかったと思う。でも私たちより小さな子はもっとこわい思いをしていると思うから、私たちが笑顔で、優しく接することが大切だと感じた。 ○どの時間帯でも、どのような人でも、対応できるようにしないとイケない。 ○避難所での生活が長くなった時には、今回とは違う課題もたくさん出てくると思う。次はそこを考えてみたい。 ○被災した人々が、一日も早く通常の生活に戻れるよう、支援の在り方を考え、社会に訴えていきたい。 ○中学生でも、学習したことを生かして知恵を出し合い、力を合わせればお互いの命を守り合っていけることが分かった。</p> <p>{学習したことを生かして、地域のためにできることを考えている。}</p>	<p>■ 地域の方に分かりやすい発表となるよう、表現を工夫させる。 □（配慮を必要とする生徒への支援） 地域の方の感想を基に、自分を見つめさせる。</p>
<p style="text-align: center;"><b>まとめ・創造・表現（2）</b></p> <p>文化祭でステージ発表・展示発表を行い、学校における津波による避難訓練の計画を立案する。</p>	<p>○地域の人たちに自分たちの取組を発表できてよかった。 ○次は、津浪を想定した訓練を計画しよう！</p> <p>{地域に発信することにより、自信が深まり、新たな課題に挑戦しようとしている。}</p>	<p>■ 地域の方に分かりやすい発表となるよう、表現を工夫させる。 □（配慮を必要とする生徒への支援） 地域の方の感想を基に、自分を見つめさせる。</p>

### 【児童生徒の変容】

この学習を通して、生徒は、今まで学習した知識・技能を活用しながら、何をどのように実行していくことがよりよい方法なのかを深く考えることができた。また、生徒は、「被災時に自他の命を守る」という課題を自分事として捉え、解決に向けて協働して取り組むことの良さを実感し、課題発見・解決力を高めることができた。防災訓練後には生徒から「自分たちでも、こんなにやれることがわかった」、「計画を立てるとき、いろいろな案があったがみんなで話し合ったことがよかった」等といった感想が出され、主体性・積極性が高まり、自らへの自信へとつながったと捉えている。また、キャリア教育の視点からも、文部科学省『中学校キャリア教育の手引き（平成23年3月）』に基づいた事前・事後アンケートでは、全ての項目で数値が上がったが、とりわけ人間関係形成・社会形成能力に係る事項の数値が上がったことから、生徒は「誰かを守る立場」としての自覚をもち、「お互いの命を守りあう」行動をとることができるように変革してきていると捉えている。